

## 学び舎訪問

MANABIYAHOMON

高校生ものづくりコンテスト優勝！  
創立80年、脈々と続く「ものづくり魂」

しん そう かん

## 真颯館高等学校 建築科



後列右から建築科の山本先生、佐野先生、立川先生。前列左側は、昨年の「第15回 高校生ものづくりコンテスト福岡県大会」家具工芸部門でイーゼルを作り見事優勝、九州大会にも出場した向井さん、右側が今年のコンテストにチャレンジする義間さん。

昭和11年、小倉市砂津の地に九州工学校として誕生した真颯館高校。建築科は昭和35年に4番目の学科として設置されました。現在では8学科に加え、514人の生徒が学んでいます。80年間「ものづくり」にこだわり続けた学校の魂は、今を学ぶ生徒たちの胸に深くしみこんでいます。

現在、ひときわ活躍しているのは『なぜなぜ星人』とニックネームがついた女子のペア。建築科の山本先生は、「わからないことを徹底的に質問してくところが素晴らしい」と話してくれました。2人は、男子生徒の多い生徒会でも中心人物として活躍中。その果敢にチャレンジしている姿は、周りの男子生徒をけん引しリーダーシップを発揮しています。建築科の生徒のほとんどが大工技能士3級を取得し卒業。生徒同士も仲が良く、アットホームななかにも厳しく面倒見のいい先生方のもとで、将来の夢をしっかりと見つけていました。



取材時に今春の卒業生が集結。彼らが3年次で作った「六角堂」は、宮野さん(最前列左端)の「学んだ証しを学校に残したかった」という想いが形になったもの。写真は、最前列左から、宮野涼平さん、荒金優斗さん、月溪真亮さん、前担任の梅崎先生、濱崎時夫さん、川原涼さん、2列目、宮川大揮さん、向井さん、義間さん、江口聖虎さん、3列目、佐野先生、山本先生。

## これからの夢



インテリアに興味があって入学しましたが、1年の時は思うようにいかず授業中泣いたことも。やっというちに製図や実習が楽しくなり、夢を見つけることができました。大学へ進み将来は設計士になります。

3年生 向井 唯さん

設計に興味があったけれど、実際は作る方が楽しいと感じています。将来は、体を動かしながらものづくりをしたいです。学校内コンペで選ばれたので、6月のコンテストではぜひ優勝します。



3年生 義間 明音さん



大工が造る軸組、墨付け等を学ぶ。土台から通し柱、胴差し、ケタなど組み合わせ、クギを使わず自分で作る。

←学校前のバス停にあった老朽化で壊れたベンチを見かねて、1~3年の有志8人がボランティアで製作。後ろと側面のパネルは美術科の生徒が小倉城などを描き新しくした。

DATA

## 真颯館高等学校

〒803-0837 北九州市小倉北区中井口5-1 TEL.093-561-1231 <http://www.shinsokan-h.ed.jp/>

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-18

TEL.092-477-6731 <http://www.fukukenkyo.org/>

(一社)福岡県建設業協会は、福岡県の建設業のための公益を目的とした団体です。

会員情報はこちら



一般社団法人 福岡県建設業協会